

小 論 文

(医 学 部)

— 2月11日 —

【課題】

以下の文章を読んで下記の問いに答えなさい。

原著論文や大学院学生レポートなどは、いわば内容の高さを生命とするものである。これを書くときには、研究・努力によってこそ盛るべき（新しい）情報を獲得することが第一の仕事だ。

使用説明書を書く場合はこれとはちがう。機械の使用手引を書く人は、その機械を熟知しているはずである。つまり、書くべき情報はすでに頭のなかに満ちあふれているので、それを整理して読者（使用者）にとって必要なものだけを洗いだすことが要件だ。もっと具体的にいえば、

この説明書は、誰が、どういう目的で、いつ、どこで読み、どう利用するのか

を考え、それに適するように情報を選択・配列することが第一の仕事である。

それにはいろいろに想定した場面で、いろいろに想定した読者が、何をどの順序に知りたがるかを考えてみる思考実験が必要だ。この思考実験が、原著論文の場合の〈研究〉に相当する。書く前にどれだけ行き届いた思考実験をしたかによって、説明書のねうちはおよそきまるのである。

（出典：「理科系の作文技術」木下是雄著）

〈問い〉

ここにリンゴと果物ナイフが1つずつあります。まだナイフを使ってリンゴを剥いたことのない子供に向けて、あなたが「リンゴを剥くためのナイフの使用説明書」を書くとしたらどのように書きますか？

500字以内で述べてください。必ずしも、ひらがなで書く必要はありません。

